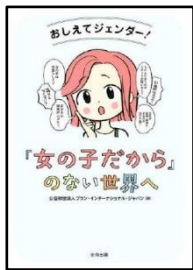


図書・資料室だより

3月8日は **国際女性デー**

女性の生き方について考える日です
いろいろな女性たちの生き方、言葉を紹介します



『おしえてジェンダー！
「女の子だから」のない世界へ』
(公財)プラン・インターナショナル・
ジャパン // 編
合同出版 2023年

女の子は可愛いらしく？女の子は理系がニガテ？そんなジェンダーの思い込みにとらわれず、「女の子だから」という呪いの言葉を捨てて、もっと自由に生きよう！世界中の強くて、賢くて、勇気がある女の子たちへメッセージを送ります。



『闘いの庭 咲く女
彼女がそこにいる理由』
ジェーン・スー // 著
文藝春秋 2023年

初めから特別な人はいない。「私なんか…」と謙遜して尻込みせず、めげず腐らず、頑張った先で花を咲かせた女の話を知ってほしい。柴田理恵、君島十和子、野木亜紀子、北斗晶ほか13人へのインタビューエッセイです。



『「烈女」の一生』
はらだ有彩 // 著
小学館 2024年
遠い昔の話ではない。少し
だけ前の時代に、性別、人種、
文化、階級などの数々のステイ

グマの中で歴史に名を刻んだ女性たちが、何を思い行動していたのか、独自の視点で紐解きます。



『だから私はここにいる
世界を変えた女性たちのスピーチ』
アンナ・ラッセル // 著
カミラ・ピニエロ // イラスト
堀越英美 // 訳
フィルムアート社 2022年

ヒロインでも聖人でもない実在のさまざまな女性によるスピーチ54本を収録。強い信念に貫かれた情熱的な言葉が、女性によってもたらされた変革の歴史をたどり、「女性はどうにあるべきか」という問題を投げかけます。

『こんな世の中に誰がした？

ごめんなさいと言わなくてもすむ社
会を手渡すために』

上野千鶴子 // 著
光文社 2024年

不均衡な社会に生きるすべての女性の人生に寄り添い、エールを送ります。今よりちょっとましな社会をあとから来る人たちに手渡すために…。

『たまたま生まれてフィメール』

小川たまか // 著
平凡社 2023年

結婚と夫婦別姓、政治とジェンダー、性暴力事件など、この国で生きる女性やマイノリティーが抱える困難を問い直すフェミニズム・エッセイです。

『新版 ヒロインは、なぜ殺されるのか』

田嶋陽子 // 著
KADOKAWA 2023年

自立して自らの人生を生きようとした魅力的なヒロインたちは、映画の中でなぜみんな死んでしまうのか？男社会の勝手な女性観、消費されるヒロインたちを、フェミニスト目線で鮮やかに読み解きます。

さんかく☆ミニ講座

男女共同参画に関する
ことばを紹介します

国際女性デー



「すべての女性と少女のために:権利、平等、エンパワーメントを」をテーマに

2025年3月8日を祝いましょう。

今年のテーマは、すべての人に、そして誰一人として取り残されることのないフェミニズムの未来のために、平等な権利、力、機会を与える行動を呼びかけるものです。このビジョンの中心となっているのは、永続的な変革の触媒として、次世代つまり若者、特に若い女性や思春期の少女たちに力を与えることです。

参考:国連ウィメン日本協会 HP

G-NET シネマ

『真実』

《字幕作品》

2019年/フランス・日本/108分/監督:是枝裕和

国民的女優ファビエンヌが自伝本「真実」を出版。娘、元夫、現在のパートナーなど、“出版祝い”を口実に、彼女を取り巻く“家族”が集まる。全員の気がかりは、「いったい彼女は何を綴ったのか？」

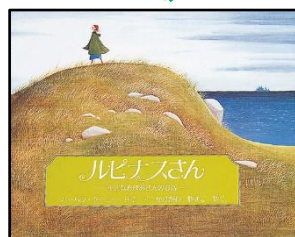
4月12日(土)13:30~

男女共同参画センター“G-NETしが”視聴覚室

参加無料&申込不要

無料託児あり;4/5(土)までにお申し込みください

男女共同参画 絵本を紹介



『ルピナスさん』

バーバラ・クーニー // 作

掛川恭子 // 訳

ほるぷ出版 1987年

海を見下ろす丘の上の小さな家に住むルピナスさんは、「世の中を美しくするため」すてきな魔法を思いつきます。一人の女性の人生の輝きを、ルピナスの花に託してやさしく語りかけます。

図書・資料室 ご利用案内

- 開室時間 9:00~17:00
- 3月の休室日 3日、10日、17日、21日、24日、31日
- 貸出(本・雑誌)15冊 3週間まで
(DVD) 2本 1週間まで
- お問い合わせ先(電話)
0748-37-3735(図書・資料室直通)
0748-37-3751(センター代表)



滋賀県立男女共同参画センター
公式Instagramはじめました!
フォローお願いします!



滋賀県立男女共同参画センターの
情報はこちらから

